成し総て完了致しました。 夏休み中に運動場全体が完

校舎、設備をはじめ、見

きました母校の先生方あり ました皆様、ご協力いただ

がとうございました。

寄付にご協力宜しくお願い

旧職員

永山阿北赤 塚崎部村地

清 敏 市 靖男

先 先 先 生 生 生

かがお過ごしでしょうか。

同窓会会員の皆様、

を担当して頂きました。 の各先生にお願いし、説明校長、副校長、教頭、顧問

来ました。ご出席いただき の予定を終了することが出 詫び申しあげます。

新校舎見学時には母校の

り惜しい気持ちの中、一日れ大いに盛り上がり、なご的ランチスペースで開催さ

し上げます。

おかけいたしました事、 した皆様に、大変ご迷惑を

お

懇親会は校舎三階の多目

のばかりでした。

母校教職員、旧職員の方々

同窓会役員のご協力を頂き

本日の予定と寄付金のお礼 話しがありました。続いて とを計画しました」とのお 懇親会

兀

と拝察申し上げます。 益々お元気でご活躍のこと

间

窓会をよろし

Z*

母校建て替え工事も昨年

同窓会会長

田中

威(31年卒)

(1)

け入れ態勢が十分でなかっ

つ取っても、

は実習のための設備、何

テニスコート、教室に

動につきましては、事業計

手伝いいただける方、同窓

合わせて、

また同窓会役員としてお

平成二十七年度同窓会活

とが出来ました。会員皆様 画に従い、予定通り行うこ 開閉式天井付きプー

当日は同窓会としての受

りがとうございました。

数の皆様のご出席を戴きあ

うなものばかりで驚きの連 るものが総て目を見張るよ

昨年の同窓会総会には多

十八年度

63 編

川崎市立川崎高等学校同窓会

川崎市川崎区中島3-3-1 〒210-0806 電話 (244) 4981 中 有限会社 杉 印 小 総会のご案内 平成

於 ダイスビル (元小美屋) 六階「煌

闌

会総会のご案内を申し上げ か。平成二十八年度・同窓 元気でお過ごしでしょう 会員の皆様、先生方、お

숲

平成二十七年度

総会及び懇親会報告

電話〇四四(二四五)〇〇一八

真

集 発行所

責任者 刷 印

玉

ております。

所 ダイスビル六階

気の料理を堪能していただ | 子の語らいのひとときとな囲み、温かく美味しいと人 | との懐かしいお話や今の様ル」に入りました。円卓を | き世代を越えた会員や恩師

中華料理・煌蘭

にある「ダイスビル」(元した。今年は京急川崎駅前 願いいたします。また、旧・ ご出席くださいますようお もお声かけのうえ、ぜひ、知り合いの同級生の方々に のご参加をお待ちいたして 本年も昨年同様多くの皆様 学校案内もあり、大勢の皆 した。立派に出来上がった おりますので、お友達やお 蘭」にて開催いたします。 小美屋) 六階•中華料理「煌 塊職員の先生のご出席も役 昨年は新校舎での総会で

員一同心からお待ちいたし

日

時

四月二十九日

時

一時五十分

懇親会 その他

した「煌蘭」は「ダイスビ じまいとなりました。新装トだった「さいか屋」が店 が変わりまして老舗デパー

平成二十七年度会計報告 平成二十七年度事業報告 と二十八年三月卒業生 ただし平成二十七年卒 懇親会参加費 四千円 平成二十八年度会計予算(案) 役員改選 は一千五百円 会計監査報告

日(水)母校に於て同窓会

平成二十七年四月二十九

総

会

位广福等

総会が開催されました。前

開かれます。川崎も街並み 総会終了後には懇親会が れる八十二名ものご参加をにて、近年過去最多と思わ 皆さまにご覧いただきた年完成した新校舎を会員の 十時三十分より大会議室 母校開催となりました。

り、会長あいさつでは田中 卒)

の開会のことばで始ま いただき開会となりました。 中島光枝さん(四十年

金 视 室もできました。本日は校 威会長(三十一年卒)から 長先生・副校長先生・教頭 昨年八月に竣工し同窓会

面参照)にて開催いたしま ました結果と心より感謝申 を順調に継続するため、ご ました。今後も同窓会活動 ますようお願い致します。 す。多数の皆様お誘い合わ せのうえ、ご出席いただき 会は「煌蘭」(詳細は本紙) した皆様ありがとうござい 平成二十八年度同窓会総 昨年度ご寄付いただきま 名・全日制七二〇名とな二四〇名・夜間部四二〇より昼間部もでき、昼間部 阿部敏校長先生より、「本 の挨拶がありました。 えたこと、定時制は本年度 照)今年で創立百四年を迎 員の異動の説明(四面参 がありました。また、同窓 うございます」とのお言葉 いました。母校の教育振興 日はご出席ありがとうござ 会に対しお礼の言葉と教職 にご協力いただきありがと 名誉会長あいさつでは、

機会です。お若い会員の皆 れたら幸いです。年一回の て同級生をお誘い合わせの 様も、ぜひクラス会を兼ね 上ご参加ください

で開催された同窓会総会

建て直された川崎高校

の先輩方を始めとして、

複数の班に分かれてエレ

す。踵を巡ら う飛行機の

すと、丸テ 妥も見えま

に「校舎見学会」があり の後に企画されたもの

た。校長先生を筆頭に私

達現役の教員が引率し最

の見学会開始となりまし

ているテラスからは眼下

教室があります。 はありません)や英語科 大多数のため、食堂販売 ース(弁当持参の生徒が

短い見学時間ではあり

ーブルと椅子が設置され

ベーターも利用しながら

ご参加の方々













ことと思います。

因

や進路指導室などがあり

り、解散と致しました。 利用しての記念写真を撮

同窓の皆様も是非、こ

科・国語科の各教科教室 五階は福祉科・地歴公民 内に戻りましょう。この

創設され活躍してくれる

す。きっと水泳部なども

一十五メートルプールで

らの見学です。まずは最

た日常とはかけ離れた世 空中庭園もあり喧騒とし 道室があります。 にこの階には独立棟の茶 めることができます。更 の人工芝グラウンドも眺

界が体験できます。校舎

りました。また、見学会

たような声が挙がってお

ごしてみたいわ」と言っ

の最後には、各班ごとに

階のアプローチ階段を

上階(七階)にあるのが

ら地上階のグラウンドま

脇には

この校舎で高校生活を過 さった方々は、「もう一度、 ましたが、参加してくだ

階にある屋内プール

で上へ下へと移動しなが

に、この水は万が一の大

ものでもあります。さて

おります。

ください。お待ち致して の校舎を見学にいらして

ハ階ですが、この階には

移動していきます。今回 うちに次の授業教室へと 大学のように休み時間の 生徒達は毎時間、まるで 教科ごとの教室があり、 ます。このように各階に

な水源として利用される 規模災害発生時には貴重 挨拶がありました。

卒業生で「頑張りなさい り、また、お母様が川高の いしたい」とのお話があれているので全力でお手伝 る学校で、川崎唯一の中高 四月一日で着任したこと、 あり地域の皆さんに注目さ と、また「百四年の伝統あ 商業から異動なさったこ 貫校で定時制の昼間部も 名誉副会長あいさつで 山崎副校長先生から、 見学会にご参加くださ り、とてもうれしく思 ました。高等女学校時代 も多くの方々がそのまま もありましたが、総会後 るのだろうか、と不安で

す。この階には棟の上に

続いて五階へと下りま

頂く時間が足りず残念で の見学会では全てをご覧

したが、四階には五百人

美術室などがあります 芸術科のうちの書道室の

出され議事に入りました。 俊雄さん(四十一年卒)が選 平成二十六年度事業報告 (四十二年卒)書記に矢島 続いて、議長・書記選出に 議長に相川博史さん

出席され、また、テレビ・

先生・同窓会顧問の先生も

新聞でも紹介されましたの

学会を兼ねた総会を催すこ で、問い合わせも多く、見

史さん

平成二十七年度事業計画(案) した。 が発表されました。 特段のご意見・ご質問も 案件は承認となりま 会計予算(案) 会計監査報告 特別会計報告 (四面参照)

年卒)の閉会のことばで、 終了となりました。 江守千恵子さん(二十七

> 懇 親 会

ドも紹介されました。 と激励されたとのエピソー

の進行で始まりました。 れ、辻岡智さん(五十年卒) - ス」 での懇親会が行なわ 明るく広い「多目的スペ [開会のことば] 相川博

た。総会及び見学会では皆 の総会開催ですが、実にた。平成四年以来、校内で 説明、会の後半にあるスピ の言葉と、懇親会の流れの がとうございました。」と さまのご協力いただきあり 校舎見学お疲れさまでし 会長より、「一時間余の新 ーチの依頼、若い会員の同 二十三年ぶりとなりまし [会長あいさつ] 田中威

窓会参加のお願いがありま

空港を離着陸するであろ

トの向こうには遠く羽田 ートがあり落球防止ネッ 設けられているテニスコ

科・数学科教室。三階に

は広々としたランチスペ

科の実習室、 収容の講堂、

音楽科·理

生活科学

部校長先生から「学校見学 [名誉会長あいさつ]



小 鈴原 木 隆 和 智

懇親会に出席の先生方

先生

りましたので、アルコール は禁止となり 懇談となりました。 のお元気なご発声で食事・

た。(上記参照) から紹介して [乾杯] 織田村佳之先生

を、現職員は小原隆和先生 今回は校内での飲食とな ましたが、そ いただきまし おります。

面担当 嘉 瑞男 恵

ではないでしょうか。料理 の分会費が少し安くなり、 ブルには、寿司・煮物・天 はケータリングで、各テー より参加しやすくなったの

ご協力ありがとうございま くお願いします。」とのご 同頑張りますので、よろし た。本日は皆さまが、思い 貫推進会議の立ち上げに関 した。これからも教職員一 [名誉副会長あいさつ] できて良かっ 立商業に勤務 川高中高一 をしていただきました。

り、それぞれの思い出話し 各テーブルにマイクが廻 ぷら等の盛り合わせ、別テ ん学生時代に戻ったように 後、毎年恒例のスピーチで だけたかと思います。その フルーツ等と満足していた やサンドイッチ・ケーキ・ 大きな声での合唱になりま ーブルにはローストビーフ 最後は校歌斉唱で、皆さ

生が旧職員の先生方の紹介 の開催になります。昨年同 のご参加をお待ちいたして ビルに移転した「煌蘭」で 次回二十八年は、ダイス 人でも多くの皆さま

[来賓紹介]

赤地靖男先

した。

村友中山澤島

ら生活できることに感謝し 日々生徒と一喜一憂しなが 任して二年になりますが、

合唱のプレゼントをして卒 がお世話になった三年生に

行われた送別会では中学生

昨年度の卒業式の前に

ある神無祭が行われまし

一般公開には昨年を上

十月に全日制の文化祭で

業を祝ってくれました。ま

ております

申し上げます。本校に着 とご後援を賜り、厚くお礼 の教育活動と在校生のため

の面倒をしっかり見ていま

な生徒」が育っていると感

きる、まさに「こころ豊か 解し認め合いながら生活で ているみんながお互いを理

うでもなく上級生は下級生

合同で体育祭を行っていま

準備段階では、

誰が言

昨年度から附属中学校と

定時制、この校舎で生活し

がある」と感じています。

なります。

中学生、全日制、

お疲れ様でした。

動を見ていて、この学校に

を見ていると、「これが川

高らしさだな」 とうれしく

「変わらない川高らしさ

を配りながら活動していま

丁寧過ぎるくらいに気

じています。

同窓会の皆様には、母校

に、平素から温かいご支援

百四年目を迎えています。

本校は、今年度、創立

た、昨年の十月に定時制の

の展示や、かご作りなどの

体験コーナーを行っていた

皆様には卒業アルバムなど

いただきました。同窓会の 凹る五千名超の方々に来て

毎年、生徒や教職員、さら

わりますが、生徒たちの活 に学校を取り巻く環境は変

の生徒や全日制の生徒が楽

したイベントに附属中学校 定時制の実行委員会が企画 文化祭が行われましたが

で企画や準備をしていただ だきました。夏休みを挟ん

ラウンドが完成し、

玉

中高一貫校「本路スタート金質があると

が本格開始しました。先生や生徒達が勉強に、クラブ活動に思いっきりの学校生活を始めています。した校庭やグラウンドは、昨年の七月に完成し、校舎・校庭・グラウンドのすべてが整い、中高一貫教育 平成二十六年四月、「中高一貫教育校」が始まり、九月より新校舎での授業が始まりましたが、未整備で でも各部活動は他校の施設

や苦労話を記事にして 原先生に、グラウンド いただきました が完成するまでの経緯 技部の顧問でもある小同窓会顧問で陸上競

校舎全景

仮設校舎でのクラブ活動 りて使用し、時には校舎内

うやく全ての学校施設が完 度より仮校舎での生活を経 成することとなりました。 より本校に引き渡され、よ して、平成二十七年の夏に 校舎が完成、新たな学校生 て、平成二十六年八月に新 舎に移転し、平成二十三年 新グラウンドが完成、八月 活がスタートしました。そ 思えば平成二十三年の仮 旧校舎が解体され、仮校 ましたが、そのような状況 した。

近くの東電グラウンドを借 時間で使用できる場所は、 た状況でした。そのため、 猫の額ほどの大きさしかな ドが使用できなくなり、約 い運動スペースのみといっ 校舎建設とともにグラウン 一年がたっていました。 その間、部活動や体育の

用していました。何かと使 用して活動する部もありま 通路や、空きスペースを利 道を日々練習場所として使 ない時は校舎内でトレーニ 部も東電グラウンドが使え ングをしたり、昇降口前の い勝手の悪い期間ではあり 私が顧問をする陸上競技 すが、十年前の在学当時と を流していました。 がら活発に活動をしていま 等を借り、創意工夫をしな した。また不便な中でも生

人工芝グラウンドが完成

一ドは以前のような土ではな た。新たな本校のグラウン 立川崎高等学校全ての校舎 成し、これで新たな川崎市 が完成することとなりまし に引き続きグラウンドが完 その中で、ようやく校舎

ます。 比べ、部活動に参加する生 感しており、事実増えてい 徒も大幅に増えたと強く実 中でも工夫をして活動し汗 徒の活動自体もますます活 発になり、限られた環境の 私自身、本校の卒業生で

ます。 く、人工芝が使用されてい

す。また、旧校舎のグラウ はタータンが敷かれていま なり、多くの部活動が活動 ンド同様、広いスペースと また、グラウンドの外周

トボール部、 しています。多い時では 四つの部活動が同時に活動 陸上競技部の 野球部、ソフ

の学校で部活動を行える環 後は各部の活動で活気に満 ち溢れています。 境が整いました。いま放課 している日もあります。 このように、やっと自分

され生徒の活動の場となっ 動も活動するようになりまのみならず、中学校の部活 含め、運動する設備が完成 グラウンドの他、体育館も ております。また、本校は ンドは、旧校舎以上に活用 した。そのため現在グラウ 、全日制、定時制の高校本校は中高一貫校とな

したことにより、運動部は の環境が整いました。

受け継がれる

参加して

しそうに

いまし

名誉会長

阿

部

た。この ような姿

ワード2015で優秀賞を 生ファッションデザインア ザイン選手権に出場し、 生が弘前市で開催された全 させられました。皆さん、 るからこそ今の生徒たち、 うな卒業生の陰の支えがあ 賑わっていました。 このよ た材料が間に合わないくら 秀賞(全国第二位)、高校 国高等学校ファッションデ 今の川崎高校があると感じ い多くの方に来ていただき さて、生徒たちの活動で 夏に生活科学科の三年 います。 ご覧いただきたいと思って している生徒たちの様子を い環境の中でのびのび活動 お立ち寄りいただき、新し

すなど、それぞれの目標の 受賞、また、運動部では、 三十一日に全面人工芝のグ 市大会で優勝をはじめ、上 位入賞、県大会出場を果た 改築関係では、七月 これからも生徒一人ひと

だきました。昔の校舎の思 は、これからも学校の近く ました。同窓会の皆様方に い出をお聞かせいただきな だき、生徒たちが過ごして 多くの同窓生にご参加いた がら案内をさせていただき いる新しい校舎を見ていた 今年度の同窓会総会には いらっしゃった際には、

りを大切にし、学校教育目 後援をよろしくお願いいた 母校への温かいご支援とご 教職員が力を合わせて前進 標である「こころ豊かな人 になろう」の達成に生徒・ してまいります。今後とも

エントランスホールより ちは、この充実 素であります 徒の諸活動は、 る最も重要な要 この学校を支え 活動を含めた生 えることとなり した設備の中で 入きな節目を迎 成と川崎市立 最新設備の完 今後の生徒た その中でも部 崎高等学校は これからの生徒

|現在のグラウンド活用は! 広大な活動スペースを有す 学校を活気づ 活発に活動し とでしょう けてくれるこ

が横浜FC・U18との招待 を多く見かけることとな 練習試合を行っている様子 ように他校との合同練習や 試合を行いました。 り、神無祭ではサッカー部 る学校となりました。 そのため、週末は毎週の 今は無き

ご期待く

の活躍に のますます の生徒たち

川崎高校

I ALL DESIGNATION OF THE PARTY OF THE PARTY

男子バレーボール部

ださい

陸上競技部

第一大会男子

ハンマー投

優勝·準優勝

東京西部地

タルストランプ優勝 5位位

=校舎の変遷=





山崎

に商業高校全日制から異平成二十七年四月一日 立百四年目を迎えた歴史と 着任いたしました。創 科、福祉科、生活科学科の 卒業生ということもあり身 す。ですが川崎高校は普通 近で親しみも感じておりま | 科を有し、さらに二十

年度からは川崎市内唯

ます。また私の母が本校の とをとても光栄に思ってい 崎高校へ赴任できましたこ 伝統。すばらしい校風の川 輝

動、

風など川崎高校の良さを大

想いでの校舎



書道部

神奈川高等学校書道展

ソフトボール

部

走高跳

秋季新人戦

ベスト16

中高一貫校としてス タートした学校であ 切にしつつ、 書写技能検定協会賞1名 thooptoon.

のグラウンドが完成し、 も注目、期待されている学 こしてまいりました。 まる思いでこの一年間を過 校であることに身の引き締 ならず川崎市民、県民から 域の方々や教育関係者のみ これからもこの伝統や校 昨年七月に全面人工芝 校舎が全面改築さ 一昨年八月には だき、私のあ ように、同窓会の皆様とも と更なる発展 発展と卒業生皆様のご多幸 川崎高校同窓会の益々のご だき、私のあいさつとさせを衷心より祈念させていた えております 力を合わせ、 て取り組んで いますが私も しくお願いい 結びになりますが、市立くお願いいたします。 展をしていける 新たな学校へ 全力を尽くし 微力ではござ 。どうぞよろ いきたいと考

市民大会 全国高等学校ファッションデザイン選手権生活科学科 高校生 V 校生の活躍 トボール部 Annive アッションデザインアワード2015 優秀賞 (全国第2位) 準優勝 優秀賞 JA書道コンクール 国際高校生書道展入選1名 他 入選 2名神奈川新聞社賞 1名 受賞

東南角より校舎に向かって

に

男子バスケッ 関東大会 川崎地区予選

サマーカップ 準優勝東京西部地区 新人戦県大会 ベスト32 トボール部 ベスト4 吹 奏 楽 部 他 川崎幸市場食鮮まつり出演 かわさきM 8月28日出演

女子バスケッ

第一大会

市民大会

台同芸術祭

入選 4名 4名

A チー

Bチー

ベスト4

校合同芸術祭 参加 参加 川崎市内高等学校 介護老人福祉施設 校 第12回定期演奏会川崎高等学校・附属中学 -盛会中島商店街クリス 連合音楽会 マスコンサート 演奏 『幸風苑』 慰問演奏 参加

川崎第二大

福祉ボランティア部 全国手話検定試験 4級合格

市選手権大

会

やり投

準優勝

女子リレ

男子ハン

マー投 優勝

クッキング部 出前講座への協力 川崎地区食育推進分科会

· 7月31日旭町·日進町·

化センターの小学生12月12日藤崎こども文 ーの小学生 60名参加 渡田こども文化センタ 21名参加

神奈川県書道コンクール

特選 3名

受賞

神奈川県高等学校美術展 神奈川県高等学校総合文化 創造する子ども展 第40回全国高等学校総合 祭第26回理科研究発表大 自然科学部門出場決定 文化祭広島大会 教育長賞 出品

二面担当 古笹辻谷沼岡 貴 晄史 一 智

ていただきま

玉

頏

強

な

要

塞

昭和三十年卒

有馬政枝(村

りました。さつきの花咲く

つき会」と云う同期会を作

を開きます。惜しくも他界

く欠席者が出たりしますが された方や諸事情で止むな 集まりから誘い合って「さ 代が懐かしくなり数人での の半ばを過ぎた頃、高校時 が、当時川崎の駅前からトは、今は面影もありません 和三十年の春卒業した私達

今から六十年前、即ち昭

昭和三十年卒

小 幡

Ż

7

て居りました。そして人生

バスに乗って通学し

はカラオケ店で行い、さら

にて男性十一人が集まり、

断絶状態でした。残念なが 全体的な繋がりはほとんど

旧交を温めました。二次会

(3)

数名の方々が出席され 創立二十七回目の昨年も十

平成二十七年度

時、それは大変な驚きでし た。学校のイメージとは異 懐かしい母校の前に着いた としての門出としては、充 した。然し中高一貫教育校 卒業後、六十年を経て、 頑強な要塞のようで 分な構えに感動しつつ、

せながら、各階の諸々の設 装を見学させて頂き、充実 者の方々が大変危惧してい の行き届いた気配り等、 動の豊かさ、特に書道教室 備や、中庭の開放感、部活 過去との違いに思いを巡ら る児童が少なくなり、関係 の文化である書道を習得す に羨望の限りでした。日本 覚える思いでした。現代と した設備にむしろ戸惑いを

るとの事、当校には大いに でした。 像もつかない教育現場では ありましたが、楽しい一日 遠くはなれていく私には想

会

内で、 は、こう有るべきなのか けました。校長先生の御案 事の重大さ、しかも在学中 らない大切な人材を育てる は、現代社会に無くてはなおります。福祉科に於いて 生徒さん達に深い感銘を受 受験するとのお話に感心 に介護福祉士の国家試験を 時代の変化に、もはや 信念を持って入学する つくづく感じさせら 御説明頂き、教育と

川高の御成功と御発展を

頑張って頂くよう期待して一心より願っております。 大きなアプローチ階段

日、同窓会総会後に新校舎平成二十七年四月二十九 昭和三十七年卒 黒田 時の川崎駅前は、小さな市 せてバスにのりました。(当

の見学会があることを知

電が走り、トロリーバスが

四十三年卒 G H

組有志の

集い

i

出話しに花が咲き時も忘れ れば直ぐに昔に戻って想い 年ぶりの母校へ、心はずま の事務局や他方面の方々の 過ごします。今年は同窓会 てそれは楽しいひとときを り、同級生四人で、五十五 弘子 ペース、体育館、屋上のプ スクエアという、中庭から チ階段が目に飛び込んでき されました。一歩足を進め 学校の前を走ってました。) い空間の校舎棟、各教科ス 最上階まで吹きぬけの明る 【 蔵小杉の中華レストラン ます。広いエントランス、 たところ、大きなアプロー 建ての大きな新校舎に圧倒 目の前にそびえ立つ七階 ル、テニスコート、

昭和四十三年卒

中島

秀郎



でありますように。 せです。充実した学生生活 中で学べることは、大変幸 の環境と、最先端の設備の %という、たのもしい活躍 職希望者の就職率は一〇〇 れな設計です。福祉科では、 すべてに設備が充実してす 介護実習室も充実して、 ばらしいセンスで、 すばらしいです。最高

就

娘の

平成七年卒

森光

経子(松橋)

しの、おいしいお料理を頂スでの懇親会では、心づく に話がはずみました。 きながら、大変楽しい会話 広く明るいランチスペー

域療育センターも併設さ 年の歴史ある母校、南部地 ざいました。最高の教育を 先生方、諸先輩方の貴重 スタートした母校、 目指し、中高一貫校として く事ができて、大変有意義 なひとときをありがとうご 時代のなつかしい校歌もき 力強く大変誇りに思い

政江

ます。益々の御発展をお祈 り申し上げます。 毎年三月には楽しみにし

ております「真玉」です。 謝しております。ありがと 編集委員の皆様には大変感

同窓会総会後の見学会に参加し

(

ら、元気を確認しながらの一と思います。 後日、この日の報告がて くりと年を重ねて行きたい 親の介護も卒業し、

うございます。

花を咲かせました。 ミニクラス会では、楽しく、 される年に近くなりまし なつかしく、おしゃべりに

た。健康で一日無事に過ご せる有難さを大切に、ゆっ

野口先生が、平成二十七

入学を期待 年七月三十日に急逝されま 平成二十三年の川崎高校 娘も母校への憧れを抱い

時間を過ごさせて頂き、と た。娘がぜひ母校に入学し てくれるよう願っています。 てもよき同窓会となりまし しつつ、懐かしい恩師との てくれたかと思います。 娘の母校への入学を期待

娘の、中学受験を控え

タイミング良く母校の

見学を同窓会総会のお知ら

せで知り、参加しました。

新校舎を拝見して、

懐か





貫 校

した。

しい校舎にとても感動しま しい気持ちと新たな素晴ら

平成七年卒 石羽根 綾

て開かれました。

に恵まれ、拝見させていた くから見るだけでしたが、 とで新しく建った校舎はど んな感じなのだろうかと遠 同窓会と見学会という機会 中高一貫の学校というこ

校になると思います。 ましく思います。 今通っている生徒がうらや 今後も更に発展しゆく学 本当に素晴らしい学校で

いです。

だきました。

られたのでお会いすること ら恩師の谷口先生は亡くな は叶いませんが、これを機 クラスメイトとの幅

の方々は、クラスを問わ真玉をご覧になった旧友

年ぶりの再会も。

広い交流の輪が出来たら幸 編集後記 だきたいと思います。 ず、是非コンタクトをいた

昭和五十六年卒

子先生から突然ショートメ 現代国語を教わった小島愛 た。という文章でした。 ルが届き、再会を約束し 内容は、三十四年ぶりに

先生宅からも間近な東急池 十六日、私の勤務先からも 季節も春となった、三月

かりました。

いただき、お話しが終わる

すすめの中華料理店に、

雨も降り始めたなか、 頃には、すっかり陽も落ち

望で川崎駅に十七時集合、

まずはお店へと、先生お

卒業以来早四十七年、

ながら待っていると、自転 分に待ち合わせをしまし けてくださいました。白 車を押した先生が声を掛 様のなか先に到着、先生の 今にも泣き出しそうな空模 た。三月とはいえ、肌寒く りなく、先生だとすぐに分 髪頭になられたとはいえ、 三十四年前の面影はお変わ お顔が分かるかドキドキ のその後 友 澤 瑞 恵

記を書かせていただきまし

昨年の「真玉」の編集後

ていただいております。

同窓会の会計を担当させ

前の〆の続きを見ているよ

ど近況のお話しをお聞かせ われていらっしゃることな 茶店も見付からず、結局フ のためにスポーツジムに通 話にもなり話は尽きません 互いに身近な洗足池周辺の 題にもなりました。またお た。私の近況や親のこと、 ァストフード店に。注文を かし営業しておらず喫茶店 でした。一方、先生も健康 なったこともあり、妹の話 妹も川崎南高校でお世話に を探すことに、ところが喫 し、積もる話しとなりまし

と逢うことになり、先生に することになりました。 とになり、先生にご連絡を ころ「私もぜひ」と云うこ た、土屋裕子さん(旧姓園田) お逢いしたことを話したと し、十一月に 三人でお逢い 任が小島 年時の担 人で、三 先生だっ

三面担当 寺地美恵子 江守千恵子

始 男先生 旧職員 赤地 を 悼 靖男 む

出関県大会、 問として 関大会、 の回

共に記念誌完成に携わって 創立百周年に合わせて作成 来ただけに信じられない気 跡」で編集部の一員として された「川崎高校百年の軌

数を重ね、

特に昭和四十六

す。

けたのも楽しい思い出で

り、勉強したりの機会を設 を作り、飲んだり、遊んだ

イテイ会」というグループ

又、同年代の教員で「サ

年の四国イン

ターハイには

それにしても野口先生、

持ちで一杯です。 来の間柄で、特にクラブ活 年に川崎高校に赴任して以 動の面では、野口先生はハ ンドボール部、私は陸上競 野口先生とは昭和三十八



競技部の三クラブが参加し バスケットボール部、陸上 女子ハンドボ たのは圧巻で した。 ハル部、女子 と思います。 っくり休んでいただきたい 忙しすぎました。どうぞゆ

守って下さい。 長い間のおつき合いあり

は同窓会の今後の発展を見

そして川崎高校の、更に

がとうございました。 掌

三十一〜三十九年卒 バレー部OB 第六回 公 志の会

昭和三十七年卒 笹沼 晄

参加が頂けますよう、参加

したことの無い方も、気軽

お願いします。

にご参加下さい。

よろしく

りますので、今年も沢山の 司会の増子君と共に頑張ではないでしょうか?

日航ホテル内うおや一丁に 年度~三十九年度卒業のバ レー部OB有志の懇親会が 今回も忙しいなか、又、 二十七年十一月二十二日 | うで、料理よりも「会話・ 六回目の三十 盛り上がりになりました。 でした。 が楽しいひとときの二時間 会という名の宴会」でした より盛り上がり、「OB おしゃべり」、に大

二十二名の参加で、二回連 続で参加者が増えました。 きました。前回よりも多い 遠路からの参加をいただ たな参加者があり五十数 皆さんは盛り上がり、二年 今回も「乾杯」の前から |年ぶりの再会、今回も新 | らい、旧交を育むのは最高 杯を交わし とに決まりました。二年に ですけど、そ も無く、幹事としては大変 案で、毎年親睦会を開くこ 僚として、 が社会人とし 一度ではなく 今後の親睦 思いっきり語 して、人生の同 、やめるので 同に集まって れぞれ皆さん 会は先輩の提



ました。 れとなり 土屋さんも相模原から駆け 付けました。

たち、友 ら1 | ヶ月 と云う間に過ぎ「またいつ の近況のことや世間話に花 文、乾杯となりおしゃべり ョナサン」に入り、三人が のファミリーレストラン「ジ し、それぞれが家路につき か逢いましょう」と約束 が咲き、楽しい時間はあっ ワインと牡蠣御膳定食を注 が始まりました。園田さん 私の行きつけの駅ビル内

矢島 俊雄

先生のご希

石)喜久江三千円 篠田(大沢)静子五千円 篠田(大菅原(小野瀬)和子・山崎(米

枝・神奈川(武山)君江・

野)展代・小磯(杉﨑)と澤)シゲ一万円(武石(展)を開和二十一年卒(宮田(主

ヒ鹿音

村

阿紀子二千円

昭和三十三年卒

土

田

豋

節子三千円

鈴木(宮川)充子三千円サ子・柳田(田中)久江・

溝)陽子様ご逝去昭和三十四年卒

に伴

公精 鑓

十三年卒

様より三万円

真

昭和十五年卒 **垣)仁子二千円**

湯本(大日

夫様より一万円 稲田(石島)茅子様ご逝去に伴い文略和十四年卒 吉田(小

昭和十三年卒 西島文子昭和九年卒 大竹(亀井)道子三千円 新子三千円 前子三千円

(4)

000

)感謝の意を表し領収にかえさせていただきます。 成二十六・二十七年度特別会費(寄付金)をご寄付いただいた方々のご芳名を公表させていただ ありがとうございました。 敬称略順不同(旧姓)

平成二十七年一月十一~ ◎平成二十六•二十七年度 ○総額百四十五件 月十日迄 昭和二十五年卒 代)美代一万円 昭和二十四年卒 屋)美智子五千円 子・小川(茂木) 美代一万円 澄子五千 塩見 佐藤(子•氏家(高橋)早苗五千昭和三十五年卒 平山暁田)敬子三千円 昭和三十六年卒 昭和三十七年卒 子三千円 野口季子一千

喜友名悦

城戸 (鈴木)

せつ子

成二十八年一

井)和子三千円 内藤(野)玲子一万円 河又(橋)節子五千円 関谷(昭和二十八年卒 長尾(昭和二十九年卒熊)和子一千円 仔子七千円 妹尾(野田) 野寺)幹子一万円 成澤希 (藤巻) 秋子三千円 五千円 美穂子六千円 梅島千枝子 昭和二十七年卒 河村(小出靖子様より三千円)和子一千円 江守千恵子・川島 (大武高杉 五千円 寺地(高梨)美恵 昭和三十八年卒 前原本五千円 新村公彦三千円 崎(上原)弘子・平瀬(清水)一・塚本(早坂)命子・島 美代子•黒田 (小宮) 政江•

大石和代・松本芳弘・

織田村佳之

(小林)明美・宮津健

穂積啓子•

円 坪田四郎・安田 近藤(一ノ関)和

田)愛子様ご逝去に伴い東

田) 桂子一万円

笹沼

治・山本 (黒崎) 政己五千昭和五十二年卒 山本憲

(山中)百合子・高木昭房田)保子一万三千円・末永田)保子一万三千円・末永田が保子一万三千円・末永田和二十九年卒 垣野(鎌田和二十九年卒 垣野(鎌 三千円百合子・宮 橋(木田)まつ子・山田(飯 光枝・今井俊一五千円 高川) 高畑) 祐)静子・杉山(北村)登昭和四十年卒 赤塚(元 一万円 鴨下一寿三千円五万円 斉藤 (村松) 順子 昭和三十九年卒 三谷輝夫よみ一千円 平成九年卒 平成八年卒

平成七年卒

-円 奥山隆三郎・

石羽根綾三千

回

部

(黒岩)

逝去に伴い父弘様より五千平成三年卒 大竹誠一様ご

藤枝一千円 藤川(柴崎) 一様村 一千円 藤川(柴崎) 澤)徳子・望月(岩岡)芳品田寛一万円 南波(沼昭和三十年卒 平山龍介・ 子五千円 竹内義雄・本多 五千円 井田芳一万円 介・遠藤(柿沼) 昭和四十一年卒 野)美恵子三千円 安斉(新井) 矢島俊等 Ш 充子 丁· 戸 恭 平成十五年充 平成十七年至三千円 平 円 成十年卒 平成十八 友里加一

五千円 高澤 (記)

高澤(渡辺)紀子

(村田)

佐藤恒子

八千六百二十二円田様より三千円 田様より三千町向)光代様ご逝

様より三千円 水谷碧光代様ご逝去に伴い和

山(千田)美子・菅野(渡宏子・井出澄子三千円 須野原)昌江・伊藤(鎌倉) 藤(篠原)幸子・森下(日田)聖子・山田守一五千円田)聖子・山田守一五千円田和三十一年卒 岸本(福田和三十一年卒 岸本(福田和三十一年卒 岸本(福田和三十一年卒 岸本(福田和三十一年卒 岸本(福田和三十一年卒 子・武田(鈴木) 円 市村とし子一(関 昭和)博恵五千円 中村佳代和四十五年卒 石原(小市村とし子一千円 石原(小和四十五年卒 石原(小和四十五年卒 石原(小和四十五年卒 鈴木 ご 退職 平成

先

子一万円 大澤(岸)萬知一万円 林田(大木)恵美一万円 林田(大木)恵美の近近まに伴い妹松江様よりに近くれる。 福田初江様照子三千円

昭和十九年卒

山本(小林)

昭和三十一年卒

世

昭和四十七年卒 昭和四十六年卒 松本茂] 柳田(井 型.

美芳子先生 崎市教育委員会へ 憲二先生 健次先生

家庭科

ご 永 山 **着** 塚 崎 任 達也先生 輝美先生 数 数学科

久保田未来先生

ルス詐欺に

猛

成三年三

昭日

一十七年三月付 生方 の 川崎市総合教室センターへ
濵野 雄功先生 雄功先生

与えてしまうなど気をつけ ルスなどのセー ●また、貴金属買取りセー して、

空 会 よ L

上を同封の振込用紙・現 宛先不明で返却されること ただければ幸いです。 書留で同窓会宛にお送り 申し上げます。一口千円以 す。今後もよろしくお願い だき、ありがとうございまいお気持ちのご寄付をいた 寄付金のお礼とお願い 住所変更はご連絡を 今年も大勢の皆様の温 真玉」をお送りしても 金 ご連絡を下さい。 関与しておりません。 ●振り込め詐欺・勧誘にく には、学校も同窓会も一切

●広告・電話販売等の勧誘 れぐれもご注意ください。 同期会で同窓生の新住所を 入手された方も事務局まで 局までご連絡をお願いいた します。なお、クラス会・ 住所変更された方は事務

思います。

ボランティアで

覧ください。 Rコードでご

集の経験をした

に参加させて

席をお願いする事になると

などは上記Q 携帯・スマホ

||月に三〜五回程度出

ています。秋に一~二回、いをして下さる方を募集し

さい。

『真玉』の編集のお手伝

学校で検索、

学校で検索、是非ご覧くだしています。市立川崎高等

年卒

武安

弘

卒

古谷貴史

卒

飯

田真吾

大竹幸子五千

期会等、近況をお寄せ下さ

未経験でも大歓迎です。 りに参加してみませんか。

母校HPもリニューアル

人達と一緒に楽しい新聞作

同じ学び舎で学んだ

人の集まり、クラス会、同同窓会にご意見や、ご友

奇稿についてのお願

U

い。十二月末日までにお願

伊藤賢治三千

●毎日の様に "母さん助けて詐欺" が起き、大きな被害につながっています。長男と名乗って "助けて" とお金の要求があっても、身お金の要求があっても、身のにしか判らないことを話 逆に相手にヒントを 平成二十四年十月二八日 | 大野 利兵衛 5月 屮 五十五年三月迄 社昭和三十一年一月~ **豊治** 先生 -0

平成二十四年十二月十二 四十一年三月迄
松昭和三十八年四月~ ご逝去 ご逝去 社会 社会 野 平 口 成 昭和三十八年四月 始男先生 一十七年七月三十日

平成 一十六年三月二八日 ご逝去

井上 晴久先生 昭和三十八年四月~ 昭和二十五年四月~ 四十六年六月迄 十八年三月迄 一十六年八月十七日 ご逝去 英語 商業

が苦手で、

いろいろな会議

きます。

編集や印刷を生業

私自身は・

前で話すこと

ました。

議の仕方・発言・進行等に参加したことも無く、

としてきた方などのご参加

を頂ければとも思います。

三十七年卒

ご逝去 国語

9ませんでした。 発言・進行等の

四面担当

伊藤三千代 博史

会副会長の髙橋徹夫さんに 十年前、私は当時の同窓 なりますが、やっとハード 真玉の編集は十回目となり 「真玉の編集がしたい」「編 て頂き、今回で大理、編集会議 やっとハード を で三年目に で三年目に で三年目に たい」とお願 つわる話題も知ることがでとができ、過去の資料・こ 委員の皆さんから、沢山 集のお願いをしました。 それも含めて心機一転、編 変り、 中で、先輩役員や学校から 分かりやすく、仕上がって ます。少しでも読みやすく、 しは身に着いたと思ってい肌で感じ取っています。 少 のアドバイスを頂き、また、 きているでしょうか? ますが?! 『真玉』は、役員・ 戦前戦後の話、川高の移り 編集委員の総意で作ってい 真玉編集会議や役員会の 興味深い話を聞くこ

平成 26年度 業 告 事 報

入学式 (田中会長・江守・中島副会長出席)

昭和六十三年卒 垣)幸代一千円

佐々・

矢木

昭和五十九年卒 一万円 友澤瑞恵1 昭和五十六年卒

南

池田知 二千円

(佐藤)

和江一万円

会計監查•幹事会•役員会 4月28日 総会準備

4月29日 幹事会・総会・懇親会 名簿資料整理と原簿整理 5月13日 体育祭

(田中会長•江守•中島副会長出席) 役員会(11名出席) 役員会(10名出席)新校舎移転荷物梱包 8月 4日 役員会(9名出席)移転後荷ほどき整理 役員会(13名出席)神無祭の打合せ

10月18日 神無祭 (10名出席) 10月18日 役員会(12名出席) 10月19日 神無祭 (10名出席)

11月17日 真玉編集会議(7名出席) 12月 8日 真玉編集会議(13名出席) 真玉編集会議(8名出席) 12月15日 1月13日 真玉編集会議(7名出席) 真玉編集会議(8名出席) 1月19日

島)陽子二千円田)由美子七千円

昭和四十八年卒

杉山

関口(

(単森

昭和五十年卒

田中仁七千

1月26日 真玉編集会議(7名出席) 2月 2日 真玉校正(7名出席) 2月 9日 真玉校正(8名出席)

3月 1日 真玉62号発行(約12,000通配布) 3月 6日 新入会員(卒業生クラス代表)と顔合せ (田中会長出席)

(田中会長•江守•中島副会長出席) 3月 7日 新入会員名簿(平成27年卒業生配布)

平成26年度 通常会計決算報告

収入の部 3月31日現在 項 予 算 額 決 算 額 目 差引残額 2,119,832 2,119,832 0 17,250 費 250円×8319人 <u>会</u> 2,097,000 2,079,750 寄 金 600,000 559,000 41,000 寄付金 普通預金利子 300 243 57 銀行利子 雜 収 10,000 4,500 5,500 名簿販売 4,827,132 63,807 4,763,325

支出の部 項 予 算 額 決 算 額 差引残額 目 摘 事 業 積 立 金 500,000 500,000 事業積立金 (定期預金) 真玉62号印刷•送料•他 真 玉 発 行 費 1,431,393 1,500,000 68,607 総 費 200,000 134,700 65,300 総会諸費用 印 刷 費 100,000 79,304 20,696 新入会員名簿 会 費 130,000 95,355 34,645 役員会•幹事会•会議費 議 53,703 通 信 費 80,000 26,297 はがき・切手・他 交 通 費 160,000 163,430 3,430 役員•幹事•交通費 備 費 150,000 4,000 146,000 川崎市教育誌 品 文具費•他 消 耗 品 費 50,000 27,484 22,516 60,500 件 費 389,500 事務局手当 450,000 生徒会活動費 20,000 20,000 0 神無祭補助金 神 無 祭 費 20,000 18,827 1,173 神無祭諸費用 30,000 費 100,000雑 70,000 体育祭祝金•卒業祝金 予 1,367,132 1,367,132 費 0

4,827,132 2,947,696 1,879,436 差引残額 1,815,629円 は次年度に繰り越します。 4,763,325 - 2,947,696 = 1,815,629

以上、平成26年度通常会計決算報告をいたします。

平成27年4月29日 川崎市立川崎高等学校同窓会

会 長 田 中 威 **(II)** 計 会 竹 内 雄 \square 義 同 澤 瑞 \square 友 恵

Ш

地

男

美 恵 子

嘉

(EII)

ⅎ

監査の結果、適正であることを認めます。

川崎市立川崎高等学校同窓会 平成27年4月29日 会計監査 村 同 寺